



祭礼絵図
京都府暫定登録文化財に指定

京都府では、貴重な文化財の早期保護を図るため、本年四月に「暫定登録文化財」の制度が創設され、十一月に当社「祭礼絵図」が指定を受けました。

府が指定する文化財には「府指定文化財」と「府登録文化財」があり、これに準ずるものとして文化財保護の裾野を広げるため、京都府独自の「暫定登録文化財」制度が設けられ、それぞれに建造物や美術工芸品の有形文化財や有形民俗文化財、無形文化財、史跡や名勝などの記念物があります。

「祭礼絵図」は明治二十三年に行われた鎮座八十年祭の神輿山車屋台総巡行の様子が絹本に描かれています。儀式殿に額装されて掲げられているため保存状態も良く、震災を免れた数少ない絵図の価値が認められ、有形民俗文化財として指定を受けました。

当社では府市を含め文化財の指定を受けるのは初めてのこととなります。

平成三十年
祭行事のご案内

初詣

大晦日より終夜参拝
三ヶ日 御神酒 授与
正月縁起物多数
※元日午前零時より、
峰翔会(こんぴらさん応援団)が
「甘酒」の無料接待を
ご奉仕いたします。

一月十四日(日) 午前七時～
焼納祭(どんど焼)

二月 四日(日) 十一時
節分 還暦初老祈願祭
地域にかかわらず
多数お申し込み下さいませ。

四月九・十日(月・日)
春季大祭 吉例『宝籤』開催

「お伊勢さん 初まいり」
伊勢参宮旅行
参加者募集中
二月十九日～二十日(月・火)
参加費一人二六、〇〇〇円

おとなも 丹後親子で楽しむ
こどもも たのしい **こども論語塾**

『論語』の言葉は
一生の心の宝物。

2ヶ月に1回(偶数月の第1日曜)開催

★お参りと清掃奉仕の後お茶とお菓子をいただきます。
☆大きな声で論語を「素読」して楽しく学びます。

(開催日)
12/17
H30/3/18
4/15

第三日曜日
10:00
～15:00

www.konte1.com

こんぴら
手づくり市

1・2月はお休みです
出展者募集中!
神社の屋内でお食事を
「1day cafe」

こんぴらさんの
厄落としの串 500円

七色の玉を持つ猫さんが
災いから守ってくれる
招福の『KOMANEKO ステッカー』が
案内役としてついています

古来 七色の物を身につけると
厄を除けることができる
といわれています
身のまわりのものに貼って
七色の幸福を
手に入れられますよう
心よりお祈りいたします

猫の顔絵馬

狛猫さんにちなんで
思いのこもった
オリジナルの顔を描いて
幸せになる願いを書いて
奉納して下さい。

企画 わこプロジェクト 初穂料 700円

金刀比羅神社

〒610-0001 京都府丹後市峰山町泉二六五二
電話 〇七七一八二〇二二五
FAX 〇七七一八二一五九九三

mail info@konpirasan.com
http://www.konpirasan.com

平成30年の厄年(数え年)

平成12年生	19歳	女子厄年
平成6年生	25歳	男女
昭和61年生	33歳	女子大厄
昭和57年生	37歳	男女
昭和52年生	42歳	大厄初老
昭和33年生	61歳	還暦
昭和24年生	70歳	古稀8

新年祈願 承り中

家内安全 心身健勝
商売繁盛 会社隆昌
男女厄年 開運厄除
合格祈願 学業成就
海上安全 大漁満足

失われた文化財を遺す絵図

普段目にすることが出来る「祭礼絵図」は、拝殿前絵馬舎に掲げられる額絵馬です。これは昭和十九年に複製として制作され、震災後再建された絵馬舎に掲げられたものです。木地に直接に描かれているので長年の風雪にさらされて傷みも進んでいます。原本の方は保存状態も良く、色彩も鮮やかに遺っています。

よく見ると数カ所に傷みがあり、等間隔に縦の傷があります。本来巻物として保管されていた絵図が巻いた状態で傷んだ跡のようです。震災で損傷し、以後に保存のために額装されて、同時に複製も制作



絵馬舎の祭礼絵図額



儀式殿の祭礼絵図額

され、広く見てもらえるよう絵馬舎に掲げられたのかも知れませんが、

往事の祭礼が鮮やかに

震災前には、春日山・上町、高砂山・織元町、八幡山・室町、稲荷山・堺町、五幸山・富貴屋町、天神山・呉服町、釜掘山・浪花町、金刀比羅山・白銀町、金刀比羅山・泉町、三輪山・御旅町の十基の山屋台（本屋台）がありました。

絵図の山屋台（松の据えられている屋台）の数と一致し、芸屋台五基と竹屋台四基、吹貫十一基が見え、不断町の太神楽が先導しています。

大正期に撮られた写真と比べても山屋台の懸装品や飾り物までそれぞれに細部にわたって鮮やかに描かれています。山屋台の後に続く鳥居のあ

屋台、竹屋台は台車に竹を立て屋根を組んだだけの簡易な作りで、町内の旦那衆が琴平新地で鳴らした長唄を自ら披露していた、などという話も伝わっています。



天神山・呉服 大正期

当社の創建は江戸後期の文化八年（一八一）で社寺の中では比較的新しく、また昭和二年の震災で全ての社殿群や資料の多くが失われたこともあり、これまで文化財の指定は一件もありませんでしたが、四月の「日本遺産」認定に続く指定となりました。

狛犬・狛猫や燈籠などの石造物などは往事のままに遺っており、文化財としての調査も進められています。特に狛猫は長谷川松助が天保三年（一八三二）に遺した作品で、日本遺産の象徴的存在として注目を集めているので、今後の文化財指定に期待が持たれます。

こまねこまつり中止も盛り上がる町なか

九月十七日に開催予定だった第二回こまねこまつりは、当日襲った台風の影響で中止となりました。

「猫」と「丹後ちりめん」をテーマに、丹後の人と猫のつながりを大切にすまつりとして昨年初めて開催し、大変な盛り上がりを見せ、本年は四月の「丹後ちりめん回廊」の日本遺産登録もあって、新聞雑誌やテレビで取り上げてもらう機会が増えるなどの追い風も受け、期待も大きく広がっていただけに、実行委員をはじめ各企画の参加者や町内外からも惜しむ声が多数寄せられました。当日は中止になりましたが、今



峰山こまねこウォーク



こまねこウォーク 桜山荘



ねこスイーツ 戸田風月堂 猫のえん

また町内参加商店での「まちなかショップ スタンプラリー」や空き店舗を利用したアート展「日本海×アート×漂流」が九月九日から旧高田酒店・旧藤BAR・旧田中家具店で開催、昨年に続いて京都丹

年は一週前の十日に「峰山こまねこウォーク」と銘打って町歩きイベントを開催、狛猫から本殿まで境内を案内し、吉村商店と普段非公開の吉村別荘桜山荘（菅峠）まで足を運び、総勢五十名の参加者は貴重な建物と特別な景色を堪能していました。

後鉄道では企画乗車券「こまねこきっぷ」が販売され、売り切れに迫るほどの好評を博していました。飲食店の「ねこまんまランチ」、菓子店の「ねこスイーツ」のオリジナル商品もそれぞれの店舗で販売されました。

中止となったことでかえって実行委員会メンバーの意識は高まり、来年九月の次回開催へ向け新たな企画やアイデアも広がっています。狛猫と所縁の日本遺産を活かし、二〇二〇年の丹後ちりめん創業三百年を契機と捕らえ、「町おこし」「町のこし」への思いを強くしています。

弔慰

藤原邦夫殿（七十五歳）

金刀比羅神社 総代は

八月二十九日逝去されました。

藤原氏は長年金刀比羅会役員を務められ、平成二十二年四月には同会監事並びに金刀比羅神社総代に就任され、神社の護持に奉仕されました。茲にご生前のご功労を謝し、謹んでお悔やみ申し上げます。

